社会資本整備総合交付金チェックシート
（広域連携事業）

計画の名称：飛騨・富山交流圏域における世界遺産を中心とした広域観光活性化計画　事業主体名：岐阜県

	チェック欄
Ⅰ．目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等	
1）基本方針と適合している。	○
2）上位計画等と整合性が確保されている。 ・国土形成計画（全国計画） ・国土形成計画（広域地方計画）、北海道総合開発計画又は沖縄振興計画 ・社会資本整備重点計画 ・環境基本計画 ・その他（　　※該当するものがあれば記載すること。　　）	○
②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係	
1）広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	○
2）広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	○
Ⅱ．計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1）目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2）指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3）指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
4）拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
5）地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1）十分な事業効果が確認されている。	○
2）他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
Ⅲ．計画の実現可能性	
⑤計画の具体性	
1）拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	○
2）拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1）民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○
2）事業実施のための環境整備が図られている。	○